

# Special 特集 Feature

## 身寄りのない高齢者の 支援を考える 受け皿としての老健施設

少子高齢化が進展するなかで、認知症等により判断能力が不十分な人が増えるとともに、単身世帯や頼れる親族がいない人の増加がみられる。今後、地域包括ケアシステム構築の実現に向けて、身寄りがなく意思決定が困難な状態にある高齢者であっても、必要なときに安心して医療・介護サービスを受けることができるような環境整備が重要である。一方、地域では身寄りが無いことを理由に適時適切な医療・介護サービスにうまくつなげられないといった問題も浮き彫りになっている。

本特集では、身寄りのない高齢者を老健施設としてどのように受け入れるか、その支援のあり方について考える。



### インタビュー1

## 身寄りがなく 意思決定困難な方へのガイドライン 介護施設でも活用を期待

山縣然太郎さん

山梨大学大学院総合研究部医学域社会学講座 教授、山梨大学医学部 教授

山崎さやかさん

健康科学大学看護学部看護学科・老年看護学 助教



### インタビュー2

## 老健施設で身寄りのない方を受け入れる そのために必要なことは何か

中本雅彦さん

公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会 社会貢献部身元保証問題チーム チーム員

高知県医療ソーシャルワーカー協会 会長

全国老人保健施設協会 高知県支部 支部長

介護老人保健施設リゾートヒルやわらぎ 施設長